

差出人: h4k\_shoji h4k\_shoji@yahoo.co.jp  
件名: Re: 国際交流・協力ネットワーク会議について  
日付: 2019年7月21日 20:48  
宛先: 日立市市民活動課 (文化交流係 kokubun@city.hitachi.lg.jp)



市民活動課担当者御中 あんず日本語教室各位

標記の会議に参加して来ました。以下概要報告です。

1. 参加者; 全体は約120名 約半数は、県内市町村の国際交流関連部署職員。残り半数は民間。  
日立からは、さくらから3名、日本語の部屋から1名、あんずから2名(庄司、比良、福地会長は所用により急遽欠席)

## 2. 全体会

公演; 「多文化共生社会としてのブラジルー日本との比較について」

講師; 二宮正人氏 サンパウロ大学教授

内容;

- ・戦前のブラジル移民、1980年代のブラジル人労働者の増加及びその後の帰国、最近の外国人受け入れ拡大についての歴史を概説した内容で、興味深く拝聴した。

- ・特に、1980年代の就労者の子女の日本国の受け入れ体制の不備、及びその観点からの対策が最近の外国人受け入れ拡大に十分反映されているかとの指摘が関心をひくものであった。

参考資料; ①講演要約PDF (席上配布資料 メール末尾に添付)

②席上配布資料 (2017.10 武蔵野大学法学部開設記念シンポジウムでの講演資料であるが今回の内容もこれに沿ったものであった)

<https://core.ac.uk/download/pdf/151914427.pdf>

## 3. 分科会

第3分科会 日本語ボランティアネットワーク会議

「つくばみらい市 日本語ひろば」の紹介・発足から現在までの取り組み

日本語広場のホームページ; <https://www2.tn-shakyo.jp/volunteer-group/2019/02/23.html>

～2018年4月より活動開始したボランティア日本語教室の現状紹介のあとで、更に少グループ(10名)に分かれてのグループ討議～

- ・現状学習者10名前後、講師14名で、できる限り1対1を基本としているとのこと。講師年会費1000円。学習者無料。講師勉強会実施(1回/隔週)

- ・学習者が毎回出席できないことが悩み。

- ・みんな日を 1課/1回(90分)のペースでやっているが進捗が悪い(もともと1課/2～3回でやるのが普通と思うが。)

各グループからの主な意見(テーマとは直接関係ない意見が多いが)

- ・みんな日(みんなの日本語)の文型積み上げでは教えにくく、会話重視の観点からテキストを「日本語これだけ」、「日本語おしゃべりのたね」(あんずは図書ロッカーにあり)を使用しているグループもあり(2グループ)

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/bookshelf/pdf/bookshelf201112.pdf>

- ・ローマ字併記のものが分かり易いとの意見もあり

- ・絵てがみを教材として使用しているところもあり

- ・学校での外国人児童生徒支援に特化して活動しているグループもあり (美浦村)

- ・各グループともモチベーションを上げるため交流イベントを開催しているとのこと。(ウィンターフェスティバル60名、BBQ100名、日光バスツアー等々)

## 4. 感想

- ・全体を通して、日本語教室の必要性、重要性が、今後更に増えていくことがことが実感された。
- ・他のボランティア日本語教室と情報交換ができ活動内容を知る良い機会になり得た。

フレンドリーあんず 日本語教室 庄司

あんず日本語教室 庄司様

いつもお世話になっております。  
日立市市民活動課の三井と申します。

標記につきまして、ご連絡差し上げたくメールいたします。

毎年、県の国際交流協会が主催している事業で、日本語教室の皆さまにはぜひ参加していただきたく、御案内しています。

あんず日本語教室さんから出席される方がいらっしゃれば、各団体より1人に限り、交通費を支給することができますので、対象となる方のお名前、出発駅を教えていただければ幸いです。なお、支給対象は、公共交通機関を利用した交通費となります。

どうぞよろしくお願いいたします。

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～

日立市 生活環境部 市民活動課  
三 井 茜

〒317-8601 茨城県日立市助川町1-1-1

Email kokubun@city.hitachi.lg.jp

TEL (代表)0294-22-3111 内線5 9 5

FAX 0294-24-5301

日立市公式ホームページ [www.city.hitachi.lg.jp](http://www.city.hitachi.lg.jp)

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～

<R1\_概要.pdf><R1出欠確認用紙.doc>

あんず 庄司

HPアドレス；

<https://friendlyanzu.wixsite.com/anzu>

会員専用ページパスワード；



講演要約  
20190719.pdf

## 令和元年度 国際交流・協力ネットワーク会議 次第

開催日：令和元年 7 月 19 日（金）

場 所：ザ・ヒロサワ・シティ会館分館 集会室 10 号 他

### 1. 開 会（集会室 10）（10:00 ～ 10:30）

挨拶 （公財）茨城県国際交流協会 理事長 鈴木 哲也

令和元年度 事業計画について （公財）茨城県国際交流協会 事務局長 鹿志村 浩行

外国人材の受入拡大に伴う国及び県の施策等について

茨城県県民生活環境部 国際交流課 主査 山口 佳代子

### 2. 全体会（集会室 10）（10:30 ～ 12:00）

基調講演 「多文化共生社会としてのブラジルー日本との比較について」

講 師 サンパウロ大学法学部博士教授，ブラジル国弁護士 二宮 正人 氏

昼 食（12:00～13:00）

### 3. 分科会（13:00 ～ 15:00）

#### 第1分科会（集会室 9 号）：多文化共生ネットワーク会議

「外国人材に選ばれる県、選ばれる企業を目指してー地域や企業が目指すグローバル戦略ー」

茨城県外国人材支援センター 統括マネージャー 吉澤 智也 氏

（発表後、ワークショップ「外国人材と共生する社会づくりを目指して」を行います）

#### 第2分科会（集会室 8 号）：グローバル交流ネットワーク会議

「海外姉妹都市等との交流と多文化共生のまちづくりへの取り組みについて」

境町秘書公室秘書広聴課多文化共生推進室 室長 笠松 弘美 氏

#### 第3分科会（集会室 10 号）：日本語ボランティアネットワーク会議

「つくばみらい市 日本語ひろば」の紹介ー発足から現在までの取り組み

つくばみらい市 外国人のための日本語ひろば 副代表 藤木 隆 氏 他 3 名

## 令和元年度国際交流・協力ネットワーク会議参加者名簿

|    | 区 分   | 団 体                        | 氏 名          | 分科会 | コース | 弁 当 |
|----|-------|----------------------------|--------------|-----|-----|-----|
| 1  | 市町村   | 水戸市 文化交流課                  | 平野 孝典        | 2   | A   | ○   |
| 2  | 市町村   | 日立市 文化・国際課                 | 沼田 玲子        | 2   | B   | ○   |
| 3  | 市町村   | 土浦市 市民活動課                  | 唐田 壮         | 3   | A   | ○   |
| 4  | 市町村   | 古河市 企画課                    | 植野 雅彦        | 3   | B   | ○   |
| 5  | 市町村   | 古河市 企画課                    | 塚田 健人        | 1   | A   | ○   |
| 6  | 市町村   | 石岡市 政策企画課                  | 小林 沙也加       | —   | —   | ×   |
| 7  | 市町村   | 常総市 市民と共に考える課              | 岡野 富士男       | 2   | C   | ×   |
| 8  | 市町村   | 常総市 市民と共に考える課              | 丸林 勝         | 2   | D   | ×   |
| 9  | 市町村   | 北茨城市 まちづくり協働課              | 大山 智慶        | —   | —   | ×   |
| 10 | 市町村   | 北茨城市 まちづくり協働課              | 小野崎 亜里       | —   | —   | ×   |
| 11 | 市町村   | 笠間市 市民活動課                  | 宋 珍恩         | 1   | B   | ×   |
| 12 | 市町村   | 取手市 秘書課                    | 吉岡 亮         | 2   | E   | ○   |
| 13 | 市町村   | ひたちなか市 市民活動課               | 植田 美優        | 2   | E   | ×   |
| 14 | 市町村   | 鹿嶋市 市民活動支援課                | 小沼 妙子        | —   | —   | ×   |
| 15 | 市町村   | 常陸大宮市 市民協働課                | 石川 優水        | 3   | D   | ○   |
| 16 | 市町村   | 那珂市 市民協働課                  | 益子 隆明        | —   | —   | ×   |
| 17 | 市町村   | 桜川市 企画課                    | 岡野 浩美        | 3   | E   | ×   |
| 18 | 市町村   | 桜川市 企画課                    | 藤田 香穂        | 3   | D   | ×   |
| 19 | 市町村   | つくばみらい市 秘書広報課              | 石塚 隆幸        | 3   | A   | ×   |
| 20 | 市町村   | 大洗町 まちづくり推進課               | 白土 絵梨華       | 2   | B   | ×   |
| 21 | 市町村   | 東海村 秘書広報課                  | 高橋 毅         | 1   | C   | ×   |
| 22 | 市町村   | 阿見町 政策秘書課                  | 林 苑子         | 3   | B   | ○   |
| 23 | 市町村   | 八千代町 まちづくり推進課              | 菊山 亜希子       | —   | —   | ×   |
| 24 | 市町村   | 境町 秘書広報課 多文化共生推進室          | 笠松 弘美        | 2   | A   | ○   |
| 25 | 市町村   | 境町 秘書広報課 多文化共生推進室          | 田村 学         | 2   | C   | ○   |
| 26 | 市町村   | 境町 秘書広報課 多文化共生推進室          | 鹿野谷 希美       | 2   | D   | ○   |
| 27 | 市町村協会 | 公益財団法人 水戸市国際交流協会           | 長須賀 良明       | 1   | D   | ○   |
| 28 | 市町村協会 | 公益財団法人 水戸市国際交流協会           | 大森 諒子        | 3   | C   | ○   |
| 29 | 市町村協会 | 古河市国際交流協会                  | 福島 貴子        | 3   | E   | ○   |
| 30 | 市町村協会 | 古河市国際交流協会                  | 伊藤 和子        | 2   | E   | ○   |
| 31 | 市町村協会 | (一社)結城市国際交流協会(結城日本語教室のびる会) | 叶谷 正(かのう はし) | 2   | A   | ○   |
| 32 | 市町村協会 | (一社)結城市国際交流協会(結城日本語教室のびる会) | 登坂 富子        | 3   | D   | ○   |
| 33 | 市町村協会 | (一社)結城市国際交流協会(結城日本語教室のびる会) | 関 町子         | 3   | A   | ○   |
| 34 | 市町村協会 | (一社)結城市国際交流協会(結城日本語教室のびる会) | 中主(ちゅうず) 勉   | 1   | E   | ○   |
| 35 | 市町村協会 | (一社)結城市国際交流協会(結城日本語教室のびる会) | 小林 清         | 2   | B   | ○   |
| 36 | 市町村協会 | 取手市国際交流協会                  | 土井 照夫        | 1   | A   | ○   |
| 37 | 市町村協会 | 取手市国際交流協会                  | 岩井 陽一        | 2   | C   | ×   |
| 38 | 市町村協会 | 取手市国際交流協会                  | 志澤 隆夫        | 3   | B   | ○   |
| 39 | 市町村協会 | 牛久市国際交流協会 日本語部会            | 松永 嘉久        | 3   | C   | ○   |
| 40 | 市町村協会 | 牛久市国際交流協会 日本語部会            | 庄司 京子        | 2   | D   | ○   |
| 41 | 市町村協会 | 牛久市国際交流協会 日本語部会            | 中澤 都子        | 3   | D   | ○   |
| 42 | 市町村協会 | 牛久市国際交流協会 都市交流部会           | 村尾 光子        | 2   | E   | ○   |
| 43 | 市町村協会 | 一般財団法人 つくば市国際交流協会          | 田中 千晴        | 1   | C   | ○   |
| 44 | 市町村協会 | ひたちなか市国際交流協会               | 大平 剛         | —   | —   | ×   |
| 45 | 市町村協会 | ひたちなか市国際交流協会               | 仙波 美哉子       | 3   | E   | ○   |
| 46 | 市町村協会 | ひたちなか市国際交流協会               | 中島 理佳        | 2   | A   | ×   |
| 47 | 市町村協会 | 守谷市国際交流協会                  | 櫻井 由美        | 2   | B   | ×   |
| 48 | 市町村協会 | 守谷市国際交流協会                  | 上田 敏雅        | 3   | A   | ×   |
| 49 | 市町村協会 | 守谷市国際交流協会                  | 宮本 敏弥        | 3   | B   | ×   |
| 50 | 市町村協会 | 常陸大宮市国際交流協会                | 滑川 恵美子       | 3   | B   | ×   |
| 51 | 市町村協会 | 神栖市国際交流協会                  | 南 成子         | 2   | C   | ×   |
| 52 | 市町村協会 | 神栖市国際交流協会                  | 福田 とみ子       | —   | —   | ×   |
| 53 | 市町村協会 | 東海村国際交流協会                  | 鈴木 和雄        | 2   | D   | ○   |
| 54 | 市町村協会 | 東海村国際交流協会                  | 高橋 研         | 3   | C   | ○   |
| 55 | 市町村協会 | 東海村国際交流協会                  | 小泉 紀子        | 1   | B   | ×   |
| 56 | 市町村協会 | 東海村国際交流協会                  | 広瀬 敦子        | 1   | D   | ×   |
| 57 | 市町村協会 | 美浦村国際交流協会                  | 山岡 つぎ子       | 3   | D   | ×   |
| 58 | 市町村協会 | 美浦村国際交流協会                  | 遠井 宮子        | 3   | E   | ×   |
| 59 | 市町村協会 | 美浦村国際交流協会                  | 小野 律子        | 3   | A   | ×   |
| 60 | 市町村協会 | 美浦村国際交流協会                  | 石川 大志        | 3   | B   | ×   |
| 61 | 市町村協会 | 阿見町国際交流協会                  | 湯原 清和        | 3   | C   | ○   |
| 62 | 民間団体  | 「茨城アジア教育基金」を支える会           | 福地 季子        | 1   | E   | ○   |
| 63 | 民間団体  | 「茨城アジア教育基金」を支える会           | 船山 悦子        | 2   | E   | ○   |

東海JLT

小泉

令和元年度国際交流・協力ネットワーク会議参加者名簿

|     | 区 分  | 団 体                    | 氏 名        | 分科会 | コース | 并 当 |
|-----|------|------------------------|------------|-----|-----|-----|
| 64  | 民間団体 | 「茨城アジア教育基金」を支える会       | 三浦 篤夫      | 3   | D   | ○   |
| 65  | 民間団体 | 茨城県世界青少年コミュニケーションクラブ   | 菊池 正文      | 1   | A   | ○   |
| 66  | 民間団体 | 鹿嶋国際交流JCサークル           | 西野 節美      | —   | —   | ×   |
| 67  | 民間団体 | 鹿嶋国際交流JCサークル           | 春日 幸子      | —   | —   | ×   |
| 68  | 民間団体 | 希望の学校                  | スルタニ トロベカイ | —   | —   | ×   |
| 69  | 民間団体 | 希望の学校                  | 久田 守雄      | —   | —   | ×   |
| 70  | 民間団体 | 国際交流友の会「さ・か・い」         | 肥後 輝代      | 2   | A   | ○   |
| 71  | 民間団体 | 国際交流友の会「さ・か・い」         | 赤萩 友江      | 3   | B   | ○   |
| 72  | 民間団体 | 国際交流友の会「さ・か・い」         | 石原 ヒロ子     | 2   | B   | ○   |
| 73  | 民間団体 | 国際交流ボランティアネットワークさくら    | 臼井 多賀子     | 2   | C   | ×   |
| 74  | 民間団体 | 国際交流ボランティアネットワークさくら    | 菊池 康子      | 1   | B   | ×   |
| 75  | 民間団体 | 国際交流ボランティアネットワークさくら    | 笹川 まり      | 3   | C   | ○   |
| 76  | 民間団体 | 子どものための日本語教室“太陽”       | 河村 静子      | 3   | A   | ×   |
| 77  | 民間団体 | (一社)大学女性協会(JAUW)茨城支部   | 安藤 隆子      | 1   | C   | ○   |
| 78  | 民間団体 | (一社)大学女性協会(JAUW)茨城支部   | 加藤 光子      | 2   | D   | ○   |
| 79  | 民間団体 | (一社)大学女性協会(JAUW)茨城支部   | 松本 由美子     | —   | —   | ×   |
| 80  | 民間団体 | 筑西市国際友好協会              | 日向野 ひさ子    | 1   | D   | ○   |
| 81  | 民間団体 | 筑西市国際友好協会              | 野澤 久子      | 1   | E   | ○   |
| 82  | 民間団体 | 筑西市国際友好協会              | 大山 洋子      | 2   | E   | ○   |
| 83  | 民間団体 | 筑西市国際友好協会              | 野口 節子      | 2   | A   | ○   |
| 84  | 民間団体 | 筑西市国際友好協会              | 神原 重子      | 3   | E   | ○   |
| 85  | 民間団体 | 筑西市国際友好協会              | 北島 とし子     | 3   | A   | ○   |
| 86  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 大好 さち子     | 3   | A   | ○   |
| 87  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 三浦 裕美子     | 3   | E   | ○   |
| 88  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 佐藤 光威      | 3   | C   | ○   |
| 89  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 古谷 演子      | 3   | D   | ○   |
| 90  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 板羽 健       | 3   | E   | ○   |
| 91  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 藤木 隆       | 3   | D   | ○   |
| 92  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 平井 えみ子     | 3   | B   | ○   |
| 93  | 民間団体 | つくばみらい市 日本語ひろば         | 松尾 好明      | 3   | C   | ○   |
| 94  | 民間団体 | なか日本語くらぶ               | 斉藤 正美      | 1   | A   | ○   |
| 95  | 民間団体 | 日本語教室とりで               | 小林 時男      | 1   | B   | ×   |
| 96  | 民間団体 | 日本語の部屋                 | 緑川 宮文      | 3   | B   | ○   |
| 97  | 民間団体 | 日本語ボランティアグループ・オルビス     | 金井 良吉      | 3   | C   | ×   |
| 98  | 民間団体 | 日本語ボランティアグループ・オルビス     | 中村 清子      | 1   | C   | ×   |
| 99  | 民間団体 | 日本語ボランティアグループ・オルビス     | 山田 野絵      | 3   | D   | ×   |
| 100 | 民間団体 | NPO法人 日本・バングラデシュ文化交流会  | 掛札 真俊      | 1   | D   | ×   |
| 101 | 民間団体 | ばんだう国際交流友の会            | 山崎 信人      | 3   | E   | ○   |
| 102 | 民間団体 | ばんだう国際交流友の会            | 山崎 千鶴子     | 3   | A   | ○   |
| 103 | 民間団体 | ふじの会                   | 矢代 美智子     | —   | —   | ×   |
| 104 | 民間団体 | ふじの会                   | 石崎 弘美      | 3   | B   | ×   |
| 105 | 民間団体 | ふじの会                   | 石崎 隆司      | 3   | C   | ×   |
| 106 | 民間団体 | フレンドシップいしおか            | 小松崎 一枝     | —   | —   | ×   |
| 107 | 民間団体 | フレンドリーあんず              | 庄司 基幸      | 3   | D   | ○   |
| 108 | 民間団体 | フレンドリーあんず              | 比良 康夫      | 1   | E   | ○   |
| 109 | 民間団体 | 水戸内原国際交流ふれあいの会         | 井川 コヅエ     | 1   | A   | ×   |
| 110 | 民間団体 | 水戸内原国際交流ふれあいの会         | 高橋 雅徳      | 2   | B   | ×   |
| 111 | 民間団体 | 水戸内原国際交流ふれあいの会         | 池本 和一      | 1   | B   | ○   |
| 112 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 本田 都志      | 1   | C   | ×   |
| 113 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 中野 由紀子     | —   | —   | ×   |
| 114 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 岩崎 倭子      | 1   | D   | ×   |
| 115 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 鈴木 久栄      | —   | —   | ×   |
| 116 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 高野 ゆき      | —   | —   | ×   |
| 117 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 中村 康雄      | —   | —   | ×   |
| 118 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 栗田 朋子      | —   | —   | ×   |
| 119 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 立原 正子      | 1   | B   | ○   |
| 120 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 川瀬 由紀子     | 1   | E   | ×   |
| 121 | 民間団体 | メサフレンドシップ              | 野上 明子      | —   | —   | ×   |
| 122 | 民間団体 | ラブニール                  | 小泉 光子      | —   | —   | ×   |
| 123 | 民間団体 | ラブニール                  | 藤城 公子      | 3   | E   | ○   |
| 124 | その他  | 東京出入国在留管理局審査管理部門 入国審査官 | 嶋 樹里       | 1   | —   | ○   |
| 125 | その他  | 東京出入国在留管理局審査管理部門 入国審査官 | 松野 有香      | 3   | —   | ○   |

## 茨城県国際協会における講演要約 - 2019 年 7 月 19 日 - 二宮正人

### 「多文化共生社会としてのブラジルと日本ー日本人ブラジル移住と日系人本邦就労」

1. ブラジルは 16 世紀以来砂糖キビ、鉱山、コーヒー栽培によるモノカルチャー
2. アフリカ奴隷による集約農業ー奴隷解放を予見してヨーロッパから移民導入
3. 日本人移民の到着は、奴隷解放から 30 年目。まだ多くの生き残りを目撃。
4. 当時の日本人は日清、日露の戦役に勝利したことから、プライド高し。
5. 3 年乃至 5 年で金を稼ぎ、故郷に錦を飾ることが夢であった。
6. したがって、日本人との付き合いはあっても、ブラジル人とはあまりなし。
7. 当然言葉ができないことから、付き合いは日本人のみ。一般伯人を軽視。
8. 伯人側から見ると日本人は言葉も話せず、植民地の催し事も日本人のみ。
9. 通婚も日本人間が圧倒的に多く、閉鎖的で、伯社会に同化困難と断定。
10. 1924 年米国排日移民法の結果、伯への移民が集中豪雨的に増加。
11. 1934 年ブラジル憲法に過去 50 年の移民実績の 2 分制限条項挿入。
12. 1938 年 12 月外国語教育禁止。1941 年 7 月外国語新聞発行禁止。
13. 1941 年戦争勃発。1942 年 1 月、枢軸国との国交断絶。外交団引上げ。
14. 枢軸国国民に対する行動制限。敵性財産凍結。農場、病院等。
15. 但し、日系ブラジル人に対しては制限なし。強制収容所送りもなし。
16. 終戦時に、日系社会はカチ組、マケ組に分裂して混乱。徐々に回復。
17. 1954 年サンパウロ市創立 400 周年に際して、日系社会協力委員会。
18. 文化協会設立。1958 年三笠宮殿下同妃殿下来泊。以後順調に発展。
19. 日本企業の進出。銀行、商社、ウジミナス、イシブラス等。
20. 1960 年ブラジリアへの遷都。紙幣増発によるインフレの高まり。
21. 1970 年代は年間 10% 台の経済成長。「ブラジルの奇跡」
22. 1980 年代はメキシコから始まった対外債務危機。リスケに 10 年。
23. 伯へ移住した日本人及びその子孫の社会的向上は高学歴によった。
24. 途上国にもかかわらず、学費は小学校から大学・大学院まで無料。
25. USP が設立された 1934 年には、すでに一桁の日系人が在学していた。
26. 現在は在学生の約 12%、教員 8%、SP 州の他の国公立大学も同様。
27. 移民 111 周年を迎えた今日、連邦、州、市の役職に日系人が就任。
28. 但し 1980 年代後期の伯経済不況により、徐々に訪日就労者が増加。
29. 1990 年の入管法改正以降、家族と共に就労する状況が生じた。
30. 日本の学校は、日本語ができない子女を受け入れる状態になかった。
31. 行政側は加配教員、国際学級等を徐々に設置。イジメなども問題。
32. 不登校、登校拒否による非行問題勃発。少年院送致・保護観察も増加。
33. 日本国憲法における外国人子女への教育の義務に関する解釈の問題。
34. 在日ブラジル人学校が自然発生し、最盛期には 100 校に達した。
35. ブラジル教育省もそれら学校の現状を調査し、約半数が認定をうける。
36. 中学卒、高校卒の認定試験を在日伯公館で行い、帰国の際の進学可能。
37. 在日ブラジル人学校教師のレベルアップのため、通信教育が始まる。
38. リーマンショック以前からブラジル人学生が日本で大学入学を達成。
39. 帰国子女もブラジルの大学に入学するケースが生じ、現在では多数。

40. 経済危機後、約32万人に達した在日ブラジル人は18万人台に減少。
41. 帰国者の多くは25歳未満で、就学意欲が旺盛。
42. 日本語が堪能の者は日系企業に就職が容易。但し、その逆は問題。
43. 就学意欲が旺盛な者は、高校、予備校を経て大学進学。
44. 国公立大学は無料であるが、私立大学の月謝は高額。
45. 政府や私立大学自身、ロータリー等の奨学金もあるが、競争が熾烈。
46. 昭栄という企業が投資した資金を日系社会に寄付。奨学金設立。
47. コンプライアンス、透明性のため、寄付金は宮坂国人財団に委託管理。
48. 毎年5名のブラジル大学入学者に対して最低給与一か月分を給与。
49. 現在までに25名。但し、今後の奨学金枯渇が問題。
50. 日本においても、日本政府（JICA等）等から同様の措置が期待される。
51. 最近では年間一万人近くの就労者が訪日し、子女の教育問題が再燃。
52. 中央政府や自治体における対応が望まれる。